

環日本海域環境研究センター先魁プロジェクト キックオフシンポジウム講演会 ならびに

人間社会学域国際学類「国際学セミナー」

日時：平成27年7月24日（金）14:45～16:15

場所：金沢大学総合教育講義棟D4講義室

講師：佐藤正一氏 内閣府日本学術会議事務局参事官（国際業務担当）

演題：国際人材としての資質—科学アカデミーの業務実例から考える—

講演の概要

現在、日本学術会議という科学アカデミーにおいて、国際担当の事務局員を務めている経験も含め、演者はこれまで内外において国際関係の業務を比較的多く経験している。実務の中で、国際人材としての資質が垣間見えることもあるが、特に中国や韓国といった近隣諸国における国際化・国際感覚の急速な進展に比較して、日本人あるいは日本社会の国際的感覚がなかなか進んで来ていない、というある種の危機感を強く持っている。

そこで、これまでの知見や経験から、国際人としての資質をどのように磨いていくと良いのか、アジアに位置する日本としての日本人の強み、弱み、ドメインをどのように見つめるべきなのかを演者なりの視点で紹介していきたい。

講演のおもな内容として、1) 国際学術プログラムや国際学術団体の本部事務局業務から見る国際人としての資質（コミュニケーションとは、英語で上手に話すことは必須なのか、理屈や理論で考える欧米人と対峙するには、契約社会の功罪、など）、2) 21世紀の日本の位置づけを見据える（人口減少社会「日本」と新常态経済「中国」、制度を試行錯誤する「韓国」。急速に人口の増える「アフリカ」、など）を予定している。



第15回アジア学術会議本会議総会（シエムリアップ、カンボジア）